

平成25年度
川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書
(平成24年度実施事業)

川口市教育委員会

も く じ

■ はじめに

1 趣 旨	—	1
2 目 的	—	1
3 外部評価の対象	—	1
4 外部評価の方法と順序	—	1
5 評価の区分	—	1
6 外部評価結果	—	2
7 今後の取り組み	—	2
8 平成25年度外部評価委員	—	2

■ 平成25年度施策評価一覧

	—	3
--	---	---

■ 施策評価調書

No. 1 幼児教育の充実	—	5
No. 2 義務教育の充実	—	7
No. 3 高等学校教育の充実	—	11
No. 4 学校の教育力の向上	—	13
No. 5 学校教育施設の耐震化の推進	—	15
No. 6 社会教育施設の整備・充実	—	17
No. 7 生涯学習事業の充実	—	19
No. 8 生涯学習活動の支援	—	21
No. 9 スポーツ・レクリエーション活動の支援	—	23
No. 10 スポーツ施設の整備・充実	—	25
No. 11 文化芸術活動の支援	—	27
No. 12 文化施設の整備・充実	—	29
No. 13 文化財の保護と活用	—	31
No. 14 歴史的文書の保存と活用	—	33

はじめに

1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

併せて、点検及び評価を行うに当たり、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、川口市教育委員会が行った事務点検・外部評価（以下「外部評価」という。）の結果をまとめたものです。

2 目 的

川口市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進に資すること並びにその結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 外部評価の対象

川口市では、市政運営の指針となる「第4次川口市総合計画」を平成22年度に策定し、行政分野別計画の第2章「教育・文化」に教育行政が取り組むべき14の施策を掲げています。この施策は、平成25年度の教育行政重点施策とも重なっていることから、この14施策を外部評価の対象としました。

4 外部評価の方法と順序

「第4次川口市総合計画」に基づいた行政評価制度により職員による内部評価を行い、施策評価調書を作成しました。

この施策評価調書の各施策について教育に関し学識経験等を有する外部の方々から、評価をいただくとともに、ご意見、ご助言をいただきました。

5 評価の区分

「24年度における取り組みの内容」、「24年度における取り組みの成果」、「残されている課題」及び「指標の達成状況」等を総合的に判断し、下記の4つの区分にて内部評価及び外部評価を行いました。

- 「A」…施策の目的実現に向けて24年度の目標は達成されている。
- 「B」…施策の目的実現に向けて24年度の目標は概ね達成されている。
- 「C」…上記Bと比較して達成状況は低い。
- 「D」…施策の目的実現に向けて24年度の目標はほとんど達成されていない。

6 外部評価結果

全14施策の外部評価結果は、「A：達成されている」との評価が9施策、「B：概ね達成されている」との評価が5施策で、うち3施策において内部評価より低い評価となりました。

委員からは、昨年度との比較から、指標の設定や、施策と事業の関係性など、全般的に改善がなされてきたとの意見を頂きましたが、その一方で、「厳しい財政状況下においても、総合計画を着実に実現していくために、各事業の費用対効果を向上させるべく、検討が必要である」、「関連団体等の連携を深めることにより、より効率的に事業を実施することができるよう、検討が必要である」、「施策を構成している事業数に偏りがあることから、次年度に向けて、更なる検討改善を求める」等の今後の改善に向けてのご意見、ご助言をいただきました。

7 今後の取り組み

教育委員会では、今回の外部評価で頂いたご意見、ご助言を元に、検討を進め、今後の事業へのフィードバックを行い、本市独自の教育行政の推進に努めていきます。

また、施策と事業の関連性について再度見直しを図り、より分かりやすい評価を実施し、市民への説明責任を果たしていきたいと考えています。

8 平成25年度外部評価委員

(50音順 敬称略)

氏 名	備 考
石 井 貴 朗	前川口市PTA連合会会長
大 島 丈 志	文教大学 教育学部 准教授
南 勇	川口市退職校長会幹事長

平成25年度施策評価一覧

章	節	施策No.	コード	施策名	施策主管課	内部評価（職員における評価）				外部評価			
						（達成されている（A））	（概ね達成されている（B））	（達成状況は低い（C））	（ほとんど達成されていない（D））	（達成されている（A））	（概ね達成されている（B））	（達成状況は低い（C））	（ほとんど達成されていない（D））
第2章 教育・文化													
第1節 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進													
	No.1	211		幼児教育の充実	教育総務課		○				○		
	No.2	212		義務教育の充実	指導課		○			○			
	No.3	213		高等学校教育の充実	学務課	○				○			
	No.4	214		学校の教育力の向上	指導課		○				○		
	No.5	215		学校教育施設の耐震化の推進	教育総務課	○				○			
第3節 生涯学習の推進													
	No.6	231		社会教育施設の整備・充実	生涯学習課	○				○			
	No.7	232		生涯学習事業の充実	生涯学習課	○				○			
	No.8	233		生涯学習活動の支援	生涯学習課	○					○		
第4節 スポーツ・レクリエーション活動の推進													
	No.9	241		スポーツ・レクリエーション活動の支援	スポーツ課	○					○		
	No.10	242		スポーツ施設の整備・充実	スポーツ課	○				○			
第5節 文化芸術の振興													
	No.11	251		文化芸術活動の支援	文化推進室	○				○			
	No.12	252		文化施設の整備・充実	文化推進室	○					○		
第6節 文化財の保護・活用													
	No.13	261		文化財の保護と活用	文化財課		○			○			
	No.14	262		歴史的文書の保存と活用	文化財課	○				○			
計						10	4	0	0	9	5	0	0

施策評価調書

施策No. 1

施策評価調書(1)

評価対象年度 24年度

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先 2451

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育む。学校教育の始まりである幼稚園で、基本的な生活習慣を身に付け、学習意欲を養い、小学校生活がスムーズにスタート出来るよう教育環境の整備をする。

24年度における取り組みの内容	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
教職員の資質の向上のため、私立幼稚園協会が実施した全体研修や市内私立幼稚園が独自に実施した研修等に対して、研修費の助成を行った。加えて、教育環境整備のため市内の私立幼稚園に対して、施設改善のために借り入れた資金について、その利子部分の助成を行った。また、市立幼稚園については、特色ある幼稚園づくりの推進のための人材を派遣した。	研修費の助成や、施設改善のために借り入れた資金の利子部分の助成を行うなど、各種補助金等を交付することにより、教職員の資質の向上や幼稚園施設の整備の促進など、幼児教育の充実が図られた。また、市立幼稚園に人材を派遣することにより、特色ある幼稚園づくりが推進されるとともに、幼稚園を取り巻く地域の見直しや、地域の人材を活用した教育活動が展開された。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

施策目的を達成するため、私立幼稚園・市立幼稚園相互の連携と、幼稚園と小学校の連携が課題となっている。

指標①	名称	私立幼稚園定員充足率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/定員数×100 過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	91.0	91.0	92.0	92.0	93.0			
	実績値・達成状況	91.3	達成	91.5	達成	91.9	未達成		
指標②	名称	就園率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/3、4、5歳児人口×100 過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	66.0	66.0	67.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	66.5	達成	66.6	達成	66.8	未達成		
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	683,586	809,102	840,326	961,390
	概算人件費	17,055	14,801	20,489	15,451
	総事業費	700,641	823,903	860,815	976,841
事業費及び概算人件費の変動要因	私立幼稚園就園奨励費補助金、私立幼稚園園児保護者補助金、無認可幼稚園(舎)園児保護者補助金の幼児一人当たりの補助金の額が増加したため、事業費が増となった。				

評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
B	各種補助金等の交付及び人材の派遣等により、教育環境の整備を展開することができたと考え、指標が目標値を達成できていないため、Bと判断した。	
(前回評価結果)		
A		

内部評価	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	
	幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育むためには、私立幼稚園・市立幼稚園への助成を行い、教育環境の整備を進めるとともに、幼児が幼稚園等に通園することができるよう、幼児の保護者に対して、経済的負担を軽減するための助成を行う必要がある。そのため、平成25年度も幼稚園への助成と幼稚園等に通園する幼児の保護者に対しての助成を引き続き実施する。	
	外部評価	評価結果
		(前回評価結果)

施策No. 2

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先 2498

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 子どもたち一人一人に「生きる力」を育むため、教育内容の充実、健康教育と学校給食の充実、教育環境の整備・施設整備の充実、特別支援教育の充実、家庭・地域との連携に取り組み、子どもたち一人一人に「生きる力」を育む義務教育の充実を図る。
--

24年度における取り組みの内容 子どもたちに生きる力を育むために、学力向上推進委員会、徳力向上推進委員会、体力向上推進委員会を通して学校への支援事業を進めた。また、特別支援教育や健康教育・学校給食の充実等に取り組んだ。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 小中学校ともに、近年、体力向上や健康教育等において全国表彰を受ける学校が出た。また、特別支援学級の新設や学校給食の改革など一定の成果をあげることができた。
---	---

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 学力向上については、平成23年度に目標値に達したが、平成24年度は前年度を下回る結果となった。各学校の児童生徒の課題に対して有効な手立てを講じる必要がある。また、体力テストでは目標値を上回ったものの、投力などに課題が残るほか、教育環境の整備等への計画的対応等が必要である。

指標①	名称	学力達成目標効果検証結果(小学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	「読む・書く」と「計算」の正答児童数(第6学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	94.2	未達成	96.6	達成	95.9	達成		
指標②	名称	学力達成目標効果検証結果(中学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	「読む・書く」と「計算」の正答児童数(第3学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	92.4	未達成	95.0	達成	92.0	未達成		
指標③	名称	小中学校体力テスト調査結果				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全国平均を上回っている項目数÷全項目数×100(小中学校)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値・達成状況	54.2	達成	52.8	達成	51.4	達成		

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	1,089,510	3,008,042	3,550,476	7,282,214
	概算人件費	121,725	207,936	199,738	211,343
	総事業費	1,211,235	3,215,978	3,750,214	7,493,557
事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について事業費の見直しを行ったことや、実施コストの変動による。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	小学校における学力向上および体力テストについては目標を達成したものの、中学校学力において未達成となった。今後は課題に対する有効な手立ての確立が求められる。	
	(前回評価結果)		
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
「生きる力」を育むために、児童生徒の実態を把握し、課題を明らかにして、指導方法の工夫改善を促して教育内容の充実に努めるとともに、健康教育や特別支援教育の一層の推進を図る。		A	
		(前回評価結果)	
		B	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120041	放課後子どもプラン事業	生涯学習課	10,912	14,907	19,823	拡充して実施
			6,880	5,810	5,810	
2120056	川口市PTA連合会補助金	生涯学習課	1,025	1,025	1,025	現状維持で実施
			0	0	0	
2120061	小学校・中学校教科書改訂(4年に1回)に伴う事業	学務課	60,919	54,276	5,320	縮小して実施
			430	415	415	
2120071	専任講師配置事業	学務課	4,792	8,915	14,412	拡充して実施
			860	830	830	
2120082	大貫海浜学園事業	学務課	66,462	73,146	78,814	現状維持で実施
			10,700	10,400	10,400	
2120092	水上少年自然の家事業	学務課	142,431	155,451	161,683	現状維持で実施
			25,800	24,900	24,900	
2120102	教育パブリシティプラン事業	学務課	1,328	1,065	1,311	現状維持で実施
			1,720	1,660	1,660	
2120112	新しい学校のシステムづくりプラン事業	学務課	38,743	25,095	26,549	現状維持で実施
			8,600	7,802	7,802	
2120126	各種競技会全国・関東大会等派遣補助金	学務課	1,985	2,248	3,000	拡充して実施
			430	415	415	
2120136	学校等災害見舞金	学務課	70	155	150	現状維持で実施
			0	0	0	
2120146	鼓笛隊活動助成金	学務課	1,320	1,290	1,290	現状維持で実施
			430	415	415	
2120156	必修外クラブ活動助成金	学務課	8,591	7,153	7,186	現状維持で実施
			413	398	398	
2120166	プラスバンド活動助成金	学務課	7,200	7,050	7,150	現状維持で実施
			413	398	398	
2120176	記念事業費助成金	学務課	1,200	1,300	700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120181	特別支援教育支援員配置事業	指導課	51,748	57,060	57,362	拡充して実施
			2,580	2,490	2,490	
2120191	中学校理科教育振興費備品購入事業	指導課	4,099	4,856	4,844	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120202	コンピュータ教育環境整備事業	指導課	315,044	322,834	324,980	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2120212	快適環境づくり運動事業	指導課	799	810	0	他事業に統合されて実施
			860	830	0	
2120222	学校教育研究支援事業	指導課	977	1,013	1,013	現状維持で実施
			860	830	830	
2120232	教育研修生事業	指導課	31	58	58	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120242	教育講演会事業	指導課	276	292	292	現状維持で実施
			0	0	0	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>義務教育の充実の施策目標に対して、十分によい事業を実施している。しかしながら義務教育の充実などは、義務教育、さらには川口独自の体験活動等を通して、どのような人間として育てているのかが本当の成果として問われているので、更なる充実に努めて欲しい。</p>
-------------	--

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120252	国際理解教育促進事業	指導課	65,921	75,120	75,120	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2120262	川口こども造形展事業	指導課	416	451	451	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120272	小学校学習支援事業	指導課	3,250	2,670	3,180	現状維持で実施
			860	830	830	
2120282	中卒就職者壮行会事業	指導課	93	174	153	現状維持で実施
			860	860	860	
2120292	中学校学習支援事業	指導課	679	850	610	現状維持で実施
			860	830	830	
2120302	中学生英語弁論大会事業	指導課	58	229	229	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2120312	発明創意工夫展事業	指導課	34	40	40	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120322	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	指導課	205,317	240,153	240,153	現状維持で実施
			14,190	13,695	13,695	
2120332	学力向上支援事業	指導課	109	126	126	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120342	小学校障害児送迎事業	指導課	14,967	12,000	12,000	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120352	障害児学級合同作品展事業	指導課	324	344	373	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120362	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	指導課	6,238	7,188	8,819	現状維持で実施
			860	830	830	
2120372	障害児就学支援事業	指導課	546	723	1,017	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2120382	きらり川口夢わーく社会体験事業	指導課	612	801	811	現状維持で実施
			860	830	830	
2120416	音楽鑑賞教室補助金	指導課	3,800	5,700	5,700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120426	各教科等授業研究会助成金	指導課	450	450	450	現状維持で実施
			0	0	0	
2120436	川口市教育研究会助成金	指導課	177	177	177	現状維持で実施
			0	0	0	
2120446	職業教室開催補助金	指導課	198	166	122	現状維持で実施
			860	830	830	
2120456	川口市学校体育協会助成金	指導課	30	30	30	現状維持で実施
			0	0	0	
2120461	自動体外式除細動器管理事業	学校保健課	2,934	2,652	3,290	拡充して実施
			860	830	830	
2120471	学校給食食器改善事業	学校保健課	74,660	58,099	73,355	現状維持で実施
			1,720	1,660	1,660	
2120482	学校保健普及啓発事業	学校保健課	1,742	2,268	2,287	現状維持で実施
			1,720	1,720	1,720	
2120492	学校給食指導研修事業	学校保健課	170	160	241	現状維持で実施
			1,720	1,660	1,660	
2120503	新学校給食センター建設事業	学校保健課	97,123	348,508	4,027,517	拡充して実施
			4,300	4,150	17,015	
2120516	心臓検診補助金	学校保健課	334	791	900	現状維持で実施
			860	860	860	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策評価調書(2)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120526	川口市学校保健会補助金	学校保健課	1,275	1,400	1,200	効率化して実施
			860	860	860	
2120563	(仮称)教育センター建設事業 *	指導課	0	0	0	休止
			0	0	0	
2120572	学校給食発注事業	学校保健課	1,790,145	2,036,895	2,101,352	現状維持で実施
			47,200	45,700	45,700	
2120582	給食費収納事業	学校保健課	4,098	5,873	5,549	現状維持で実施
			34,400	33,200	33,200	
2120593	学校施設アスベスト対策事業	教育総務課	0	6,439	0	完了
			0	430	0	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策No. 3

施策評価調書(1)

評価対象年度 24年度

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実		
主担当	学校教育部	学務課	問い合わせ先	2482	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

地域発展の一翼を担い、地域の文化を支える人材を育成する教育活動を推進する。

24年度における取り組みの内容	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
市立高校3校に各1人の就職カウンセラーを配置し、就職支援を行い、また、経済的な理由により就学が困難な生徒に対して奨学金貸付事業を実施した。	経済的支援を行ったことにより多くの生徒に修学の機会を与えることができた。また、高校生活が充実したものとなるよう、学習の支援とともにクラブ活動等への助成をし、卒業後の進路については、生徒一人一人の希望にあった支援を実施した。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

これまでの取り組みや支援状況を踏まえ、可能な限り各事業を充実させる必要がある。

指標①	名称	就職内定率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	就職内定者÷就職希望者×100 過去の就職内定率の推移から100%を目標に就職支援を行っている。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	93.2	未達成	100.0	達成	100.0	達成		
指標②	名称	大学進学率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	市立3高校(全日制)における 大学・短期大学の進学者数÷在籍者数×100							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
	実績値・達成状況	61.9	達成	64.2	達成	63.5	達成		
指標③	名称	奨学金貸付人数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	奨学金貸付人数+入学一時金貸付人数 貸付人数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	526.0	587.0	631.0					
	実績値・達成状況	526.0	達成	587.0	達成	631.0	達成		

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	215,791	230,751	250,964	137,289
	概算人件費	7,395	8,170	8,251	8,251
	総事業費	223,186	238,921	259,215	145,540
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費の大部分を占める奨学貸付事業において、貸付人数が増加したことに伴うもの。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	奨学金の貸付が年々増加しており、より多くの生徒に修学するための経済的支援が図られており、卒業後の進路においては、就職内定率及び進学率において目標値を達成しているため。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
財政状況を勘案しながら可能な限り各事業の充実を図っていきたい。		A	
		(前回評価結果)	
		B	

施策評価調書(2)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2130012	奨学貸付事業	学務課	225,720	243,629	128,325	効率化して実施
			4,300	4,150	4,150	
2130026	全国高等学校総合文化祭等派遣 交付金	学務課	1,794	1,190	2,300	拡充して実施
			430	415	415	
2130032	就職カウンセラー活用事業	指導課	2,872	2,880	2,880	現状維持で実施
			860	830	830	
2130042	高等学校学習支援事業	指導課	50	120	120	現状維持で実施
			1,720	1,660	1,660	
2130056	定時制高等学校夜食費補助金	学校保健課	315	249	450	現状維持で実施
			860	830	830	
2130062	新しい学校のシステムづくりプラン 事業(高等学校)	学務課	0	33	60	現状維持で実施
			0	332	332	
2130076	必修外クラブ活動助成金(高等学校)	学務課	0	2,063	2,354	現状維持で実施
			0	17	17	
2130086	プラスバンド活動助成金(高等学校)	学務課	0	800	800	現状維持で実施
			0	17	17	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部 評価 委員 の コ メ ン ト	<p>昨年度に比べ、大学進学率を指標に加えるなど「高等学校教育の充実」の指標としては、改善されてきている。今後は、学習支援活動や部活動の振興にさらに、力を注いで欲しい。</p>
---	--

施策No. 4

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 生きる力を育むためには、学校の教育力の向上を図ることが大切である。そこで、海外派遣や市内施設を活用した特色ある教育活動の充実を図る。また、教職員の資質・指導力の向上を図るための職員研修の充実を図るとともに児童生徒の不登校やいじめに対応するため教育相談の充実を図る。
--

24年度における取り組みの内容 特色ある教育活動の充実をめざして、海外派遣事業、ジュニア議会、校外学習など児童・生徒に魅力ある事業を提供した。また、学校経営、教科指導、生徒指導など様々な分野の研修や教育相談の充実を図った。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 特色ある教育活動の推進や教員研修の充実が、教育力の向上に寄与しているものとする。
---	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 教員の資質向上は、学校の教育力の向上につながるため、今後も、継続した研修プログラムの充実・改善が必要である。また、いじめ、不登校、非行などの現代的課題を解決するため、引き続き教育相談等の環境整備や問題研究が必須である。さらに、本市独自の特色ある教育活動を進めるためには施設の改善・活用が必要となる。
--

指標①	名称	不登校率(小学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全児童数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	0.32	0.31	0.31	0.30	0.30			
	実績値・達成状況	0.32	達成	0.30	達成	0.34	未達成		
指標②	名称	不登校率(中学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全生徒数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3.80	3.60	3.40	3.30	3.20			
	実績値・達成状況	3.73	達成	3.59	達成	3.80	未達成		
指標③	名称	教員研修満足度				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	教職員研修における満足度調査においてアンケート調査を実施し、「概ねよい」以上の評価を得た割合(H23年度より実施)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	—	95.00	95.00	95.00	95.00			
	実績値・達成状況	—	—	96.5	達成	96.6	達成		

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	145,274	154,649	168,822	165,502
	概算人件費	70,120	67,080	64,591	67,230
	総事業費	215,394	221,729	233,413	232,732
事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について費用の見直しを行っているほか、事業実施コスト等の変動による。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	特色ある教育活動の充実、教職員研修の充実、教育相談の充実のための各事業についてそれぞれ一定の成果が見られた。学校の現状をよりの確に把握しながら、学校の教育力のさらなる向上を目指す。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
各学校における課題を明らかにし、指導方法や教材の工夫改善を研究し、学校の特色に応じた教育力の向上に取り組む。		B	
		(前回評価結果)	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2140012	通学区自由化プラン事業	学務課	2,784	3,342	3,449	現状維持で実施
			13,760	13,280	13,280	
2140026	学校サポートプラン交付金	学務課	7,820	8,300	8,670	現状維持で実施
			5,160	4,831	4,831	
2140035	中学生海外派遣補助事業	指導課	5,981	6,716	6,716	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140045	高校生海外派遣補助事業	指導課	8,380	8,670	8,772	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140052	ジュニア議会事業	指導課	149	173	173	現状維持で実施
			860	830	830	
2140062	校外学習事業	指導課	24,737	33,084	29,137	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140072	学校ファーム推進事業	指導課	819	900	900	現状維持で実施
			860	830	830	
2140082	その他教育研修事業	指導課	432	466	467	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140092	課題研究事業	指導課	14	25	25	現状維持で実施
			860	830	830	
2140102	学校経営研修事業	指導課	267	241	268	現状維持で実施
			860	830	830	
2140112	情報基礎教員研修事業	指導課	131	136	136	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140132	教育相談支援員活用事業	指導課	44,045	46,980	46,980	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140142	教育カウンセラー活用事業	指導課	17,520	18,116	18,088	現状維持で実施
			4,300	4,150	4,150	
2140152	教育相談員活用事業	指導課	36,803	34,616	34,554	現状維持で実施
			8,600	8,300	8,300	
2140162	不登校児童生徒適応支援事業	指導課	1,168	1,345	1,441	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2140172	日本語補充教室事業	指導課	153	439	439	現状維持で実施
			860	830	830	
2140182	訪問相談員活用事業	指導課	746	901	1,010	現状維持で実施
			860	830	830	
2140196	文化交流使節団派遣事業交付金	指導課	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			0	0	0	
2140206	非行防止対策協議会補助金	指導課	60	60	60	現状維持で実施
			0	0	0	
2140212	学校応援団推進事業	指導課	1,290	2,962	2,888	現状維持で実施
			1,720	1,660	4,150	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>不登校の問題は非行傾向などの生徒も含まれてしまい、難しいところではあるが、川口市は不登校率が高いので、減少するように工夫して欲しい。不登校をなくすための事業は、「教育相談支援員活用事業」「教育カウンセラー活用事業」「不登校児童生徒適応支援事業」など他にもあり、幅広く実施することにより多面的で良い面もあるが、非効率となっている部分があるので、今後も、学校現場と更に連携し効率的に不登校対策を実施して欲しい。</p>
-------------	--

施策No. 5

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	215	施策名称	2章1節 学校教育施設の耐震化の推進		
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先	2454	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>学校教育施設は、地震発生時において児童生徒の安全を確保することはもとより、地域住民の一時的な避難場所ともなることから、平成7年6月16日に制定された地震防災対策特別措置法に基づき、耐震化の推進を図るもの。</p>

<p>24年度における取り組みの内容</p> <p>小・中学校耐震化整備計画に基づき、23校25棟の耐震補強工事を実施。青木中央小学校改築事業及び太陽光発電設備設置工事を実施。十二月田中学校改築事業は仮設校舎を設置。仲町中学校改築事業は北校舎解体工事及び改築工事を実施。神根小学校改築事業は実施設計を実施し、25年度から改築工事を実施する予定。</p>	<p>24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</p> <p>23校25棟の耐震補強工事の実施及び青木中央小学校の新校舎が完成したことに伴い、目標値92.9%を上回る93.2%を達成。</p>
---	--

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>学校施設の耐震化は一時的に多大な財政支出を要するため、財政状況を勘案しながら、地震防災特別措置法による平成27年度までの補助の特例を効果的に活用し、耐震化を進める必要がある。</p>

指標①	名称	小・中学校耐震化整備事業				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震化棟数÷学校施設総数×100 小・中学校耐震化整備計画事業							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(28年度)			
	目標値	70.3	80.4	92.9	96.6	100.0			
	実績値・達成状況	70.3 達成	82.0 達成	93.2 達成					
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	4,525,137	1,740,539	2,854,318	2,019,436
	概算人件費	14,355	9,030	9,545	9,130
	総事業費	4,539,492	1,749,569	2,863,863	2,028,566
事業費及び概算人件費の変動要因	小中学校耐震補強計画及び教育施設整備計画に基づき実施				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	小・中学校耐震化整備計画に基づき、24年度の目標値に達成したため。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
財政状況を勘案したうえで、計画に基づき耐震化を進めるよう努める。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策No. 6

施策評価調書(1)

評価対象年度 24年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 市民が地域社会で生涯にわたり、学び続け、生きがいつくり、自己実現を可能にすること。

24年度における取り組みの内容 公民館は地域に密着した社会教育施設として整備し、地域住民の学習支援と自主的に活動している社会教育関係団体等の育成・支援をしてきた。図書館は市全域を対象とした学習施設として誰もが気軽に利用できる施設として機能充実を図った。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 公民館の講座参加者数は順調に推移し、また、施設の安全性の確保も計画的に進めることができた。図書館は、利用者数・貸出数とも増加した。
--	---

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 公民館等の施設は、利用者数が横ばい状態となっており、利用者が固定化する傾向にある。また、老朽化している施設・機器については、計画的に補修等を進める。図書館は、資料の返却遅滞者が多く、利用の障害になっている。
--

指標①	名称	公民館・専門施設の講座参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	公民館・専門施設の講座参加者数を合計したもの 第4次川口市総合計画の目標指標							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	280000.0	280000.0	280000.0	280000.0	280000.0			
	実績値・達成状況	264057.0	未達成	256629.0	未達成	277967.0	未達成		
指標②	名称	図書館資料貸出数(定置館分)				単位	点	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	図書館資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標指標より移動図書館及び文庫分を除いたもの							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3100000.0	3300000.0	3300000.0	3400000.0	3740000.0			
	実績値・達成状況	3184007.0	—	3144163.0	—	3314980.0	達成		
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	1,320,634	667,768	702,949	836,643
	概算人件費	137,227	330,494	323,600	286,665
	総事業費	1,457,861	998,262	1,026,549	1,123,308
事業費及び概算人件費の変動要因	市街地施設付住宅耐震補強事業において施設規模による増額や合併による鳩ヶ谷図書館分の増額等によるもの。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	公民館・専門施設の講座参加者数は順調に推移し、図書館は入館者数・貸出数とも増加した。指標は、ほぼ達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
市民の生涯学習活動を推進するため、多様な学習機会の提供と社会教育施設の設備、機能の充実を図る。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2310022	施設予約システム事業	生涯学習課	2,205	768	1,623	効率化して実施
			5,160	4,980	2,490	
2310042	公民館施設運営事業	生涯学習課	167,552	159,105	178,796	効率化して実施
			6,364	6,142	6,142	
2310052	婦人会館施設運営事業	生涯学習課	491	509	544	現状維持で実施
			12,210	11,850	11,850	
2310062	青少年会館施設運営事業	生涯学習課	348	288	356	現状維持で実施
			11,160	11,850	11,850	
2310072	文化会館施設運営事業	生涯学習課	736	778	801	現状維持で実施
			15,480	15,480	15,480	
2310082	中央ふれあい館施設運営事業	生涯学習課	1,403	1,295	1,506	現状維持で実施
			14,100	13,740	13,740	
2310113	市街地施設付住宅耐震補強事業 (公民館等)	生涯学習課	16,453	37,818	64,533	拡充して実施
			860	581	664	
2310152	図書館施設運営事業	中央図書館	352,912	357,376	462,164	現状維持で実施
			265,160	258,230	223,370	
2310223	アスベスト対策事業(横曽根図書館) *	中央図書館	0	0	0	休止
			0	0	0	
2310302	社会教育施設指定管理者管理運 営事業	中央図書館	125,668	117,729	118,959	現状維持で実施
			0	0	0	
2310313	社会教育施設耐震診断事業	生涯学習課	0	27,283	0	完了
			0	747	0	
2310323	図書館耐震診断事業*	中央図書館	0	0	7,361	拡充して実施
			0	0	1,079	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

補足	<p>指標②「図書館資料貸出数(定置館分)」と施策コード232、施策名称「2章3節 生涯学習事業の充実」に記載されている、指標②「図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)」を合算したものが第4次川口市総合計画に記載されている図書館資料貸出数となる。</p>
外部評価委員のコメント	<p>図書館で返却遅滞者の利用制限を導入するなど、課題解決に意欲的な取り組みを実施し、熱心に取り組んでいることがうかがわれる。社会教育施設の整備充実には、多額の費用を投入しているので、さらに市民に還元できる仕組みを取り入れ、効率性を検討しながら社会教育施設の充実に努めて欲しい。</p>

施策No. 7

施策評価調書(1)

評価対象年度 24年度

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2463	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 市民一人ひとりが主体的に学ぶ「ふれあって 学ぶ生涯 人づくり」を本市のキャッチフレーズとし、自発的、主体的にいつでも学べる多種多様な講座、さらに専門性の高い分野や現代的課題等の学習機会の提供に努め、市民一人ひとりが正しい知識と技術を身につけることを目的としている。また、近くに図書館がない市民にもサービスの提供を図るとともに、子どもたちには、発達段階に応じたおはなし会を開催するなど、多様な方々に学習の機会を提供する。

24年度における取り組みの内容 川口市民大学は現代的課題等の講座を開催し、また、放送大学や埼玉学園大学等の高等教育機関と共催するなど、多種多様な幅広い講座を展開した。図書館は移動図書館の巡回や文庫運営事業を行うとともに、おはなし会などを開催した。科学館は学校との連携事業を推進した。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 市民大学は高等教育機関と連携し共催することにより、質の高い講座が開催でき、受講者の増加に繋がった。図書館は高齢者や幼児、児童などなかなか図書館に来られない市民に身近に図書館サービスの提供ができた。科学館は、学校連携の推進により、利用者数が増加した。
---	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 「自発的、自主的にいつでも誰もが」という生涯学習の基本理念を基に、個人の学習成果を地域社会に活かせる環境づくりや、支援体制を充実させ、市民の知的欲求に応えることが今後の課題となっている。
--

指標①	名称	川口市民大学事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	定員に対する応募者数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	124.3	達成	120.3	達成	104.4	達成		
指標②	名称	図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)				単位	点	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	移動図書館及び文庫の資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標より定置館分を除いたもの							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	48000.0	90000.0	100000.0	110000.0	120000.0			
	実績値・達成状況	48232.0	達成	90652.0	達成	124149.0	達成		
指標③	名称	科学館事業参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	科学館の各事業参加者数の合計							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0			
	実績値・達成状況	127694.0	未達成	142198.0	達成	166066.0	達成		

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	2,037	74,617	76,755	84,772
	概算人件費	6,960	88,644	91,819	91,557
	総事業費	8,997	163,261	168,574	176,329
事業費及び概算人件費の変動要因	事業数及び事業内容の充実を図ったため、事業費が増加した。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	3つの指標は全て達成されており、子どもから大人まで多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
市民に多様な学習機会を提供するため、社会人などの若い世代に目を向けた事業を展開するなど、幅広い世代に向けたサービスの提供を図る。図書館は、移動図書館や文庫の図書館資料の充実を図り、市民の知的欲求に応える。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2320012	川口市民大学事業	生涯学習課	2,330	2,470	2,524	効率化して実施
			6,880	6,640	4,980	
2320162	移動図書館運営事業	中央図書館	2,190	2,061	2,075	現状維持で実施
			8,120	8,325	8,325	
2320172	文庫運営事業	中央図書館	1,756	3,100	3,000	現状維持で実施
			18,920	18,260	18,260	
2320182	幼児・児童対象事業	中央図書館	576	657	973	現状維持で実施
			5,590	5,395	5,395	
2320212	保護者対象事業	中央図書館	2	0	0	現状維持で実施
			860	830	830	
2320232	科学展示施設運営事業	科学館	39,557	38,930	39,340	拡充して実施
			11,428	12,045	12,731	
2320242	サイエンスショー開催事業	科学館	464	872	660	現状維持で実施
			4,472	3,901	4,089	
2320252	科学体験教室開催事業	科学館	247	140	398	現状維持で実施
			3,612	3,071	3,176	
2320262	サイエンスセミナー開催事業	科学館	267	253	497	現状維持で実施
			4,128	4,150	4,255	
2320272	天文台施設運営事業	科学館	601	1,122	1,586	拡充して実施
			6,994	8,616	9,507	
2320282	プラネタリウム施設運営事業	科学館	20,710	20,860	18,370	縮小して実施
			9,449	13,489	11,748	
2320292	科学館特別企画事業	科学館	5,917	6,290	15,349	拡充して実施
			8,191	7,097	8,261	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

補足	<p>指標②「図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)」と施策コード231、施策名称「2章3節 社会教育施設の整備・充実」に記載されている、指標②「図書館資料貸出数(定置館分)」を合算したものが第4次川口市総合計画に記載されている図書館資料貸出数となる。</p>
外部評価委員のコメント	<p>各講座を身近にするために、あらゆる機会を捉えてPRを実施していることは理解しているが、今後は、ソーシャルネットワークの活用についても検討して欲しい。また、多くの予算をかけて事業を実施しているので、費用対効果を意識して効率よく、更に多くの市民の知的欲求に応え利益を還元できる仕組みづくりを考えて欲しい。</p>

施策No. 8

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先 2463

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民が、公民館を利用した相互学習の成果発表や、また、公民館や図書館で実施する各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に活かし、お互いの生きがいがいづくりに繋げていくことを目的としている。

24年度における取り組みの内容	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
生涯学習社会の中で、市民が公民館や図書館等の社会教育施設を活用して、各種講座で身につけた知識や技術の提供や、相互学習の成果発表を通じて他の人々の学習に活かした。	公民館は、各種講座で身につけた知識や技術を人材バンクの制度を活用して他の人々の学習に活かし、お互いの生きがいがいづくりに繋がった。また、図書館は、読み聞かせの方法や視覚障害の方に対し効果的な読み聞かせや朗読の提供ができ、読書環境の向上が図れた。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

市民に対して限りある財源の中で活動を支援するには、内容が充実した事業の展開の他に、自己の生活の向上や、職業上の能力の向上、自己の充実に結びつく事業の実施が必要である。

指標①	名称	人材バンク魅学登録者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	年度ごとの登録者数 過去3年間の登録者数の平均値を目標値とした。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0			
	実績値・達成状況	189.0	未達成	202.0	達成	193.0	未達成		
指標②	名称	公民館地区文化祭参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各公民館地区文化祭の参加人数 過去5年間の実績を参考に目標値を算定した。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	40000.0	40000.0	45000.0	45000.0	45000.0			
	実績値・達成状況	41434.0	達成	43237.0	達成	51135.0	達成		
指標③	名称	ボランティア研修会参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	読み聞かせボランティア講座・音訳研修会・点訳研修会の延べ参加人数の合計。過去3年間の実績を参考に目標値を算定した。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	600.0	600.0	700.0	700.0	800.0			
	実績値・達成状況	613.0	達成	676.0	達成	797.0	達成		

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	48	3,898	4,509	4,445
	概算人件費	4,350	9,460	9,130	9,130
	総事業費	4,398	13,358	13,639	13,575
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費・事務量の見直しによる。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	指標は、概ね達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
今後も、多くの市民の生涯学習活動を支援し、地域の教育力の向上や自己の充実が図られる事業を実施していく。		B	
		(前回評価結果)	
		B	

施策No. 9

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 市民の健康志向が益々高まりを見せている中、より多くの方がスポーツ・レクリエーション活動事業に参加する機会を増やすため、各種スポーツ団体の活動を支援するもの。また、社会体育普及のためのスポーツ・レクリエーション指導者の育成・充実を図ることを目的とするもの。

24年度における取り組みの内容 川口市内を活動拠点とする市民団体、(公財)川口市体育協会に加盟している団体、レクリエーションの普及啓発事業、競技選手への育成事業に関する事業を支援することにより、団体の活性化を図った。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) スポーツ・レクリエーションの各事業に多くの方が参加できるよう各種の広報を展開するなどの周知を行い、年々参加者数が増加していることからスポーツの推進に寄与したものの。
--	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 日常生活の中でスポーツを楽しむことが容易になってきたようだが、少子高齢化という社会変化に対応できるスポーツ活動の環境を整える必要がある。

指標①	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計 前年度実績値によるもの(ただし、種目により増加が見込めるものは前年度の1割)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	41700.0	54944.0	55358.0	56022.0	57400.0			
	実績値・達成状況	59163.0	達成	55034.0	達成	55407.0	達成		
指標②	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計/当初見込参加者数×100 最大参加率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	96.0	97.0	97.0	98.0	100.0			
	実績値・達成状況	105.0	達成	97.0	達成	97.0	達成		
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	921,625	145,362	157,378	208,842
	概算人件費	163,993	75,794	73,457	73,457
	総事業費	1,085,618	221,156	230,835	282,299
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	川口市の世代間交流や健康増進への意欲向上となる機会を提供し、多くの方に参加を通じ、スポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただくことが事業の趣旨と考え評価したものである。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
更なる各種の広報活動を行い多くの方にスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただけるよう検証・研究し、継続して生涯スポーツの普及や市民スポーツの推進に努めていくものである。また、競技スポーツにおいても支援を行っていく。		B	
		(前回評価結果)	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援
-------	-----	------	-------------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2410012	流水プール場・アイススケート場運営事業	グリーンセンター	64,115	64,835	112,002	現状維持で実施
			8,800	8,800	8,800	
2410022	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	スポーツ課	2,374	1,802	2,103	現状維持で実施
			860	830	830	
2410032	各種体育大会開催事業	スポーツ課	461	362	443	効率化して実施
			172	166	166	
2410042	川口市体育三賞事業	スポーツ課	283	378	317	現状維持で実施
			2,322	2,241	2,241	
2410052	市民選手権大会事業	スポーツ課	3,207	5,971	5,971	現状維持で実施
			8,600	8,300	8,300	
2410062	川口マラソン大会事業	スポーツ課	9,415	13,777	13,777	現状維持で実施
			8,600	8,300	8,300	
2410072	都市交歓スポーツ大会事業	スポーツ課	3,242	6,007	6,007	現状維持で実施
			860	830	830	
2410092	市民体育祭事業	スポーツ課	1,041	1,055	1,204	現状維持で実施
			3,440	3,320	3,320	
2410102	スポーツ教室開催事業	スポーツ課	1,144	1,106	1,543	現状維持で実施
			21,500	20,750	20,750	
2410122	スポーツ推進委員事業	スポーツ課	11,898	11,058	13,880	拡充して実施
			5,160	4,980	4,980	
2410136	学校体育奨励交付金	スポーツ課	1,900	2,158	2,158	現状維持で実施
			860	830	830	
2410146	体育協会事業交付金	スポーツ課	24,997	24,997	24,997	現状維持で実施
			3,440	3,320	3,320	
2410156	レクリエーション協会事業交付金	スポーツ課	2,700	2,800	2,800	現状維持で実施
			860	830	830	
2410166	スポーツ少年団事業交付金	スポーツ課	900	1,249	1,249	現状維持で実施
			860	830	830	
2410176	社会体育奨励交付金	スポーツ課	11,935	13,168	13,168	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2410186	県代表選手派遣交付金	スポーツ課	3,100	3,290	3,400	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2410196	スポーツレクリエーション傷害見舞金	スポーツ課	30	45	503	現状維持で実施
			2,580	2,490	2,490	
2410206	ソーデーマーチ実行委員会交付金	スポーツ課	1,500	2,000	2,000	現状維持で実施
			860	830	830	
2410216	スポーツ推進委員協議会事業交付金	スポーツ課	1,120	1,320	1,320	現状維持で実施
			860	830	830	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>スポーツを実施するには、効率面だけでなく事故などを防止することが大切であるので、安全で快適なスポーツ関連事業を実施して欲しい。また、費用対効果の分析など、より分かりやすい指標となるように工夫して欲しい。</p>
-------------	--

施策No. 1 O

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 本市は、伝統的にスポーツが盛んで多くのスポーツ団体が設立され、さらに市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識も高まっており、そのニーズのひとつである施設整備の充実を図るとともに、市民スポーツの活性化を促進し、健康増進やスポーツ人口の拡大を図るもの。
--

24年度における取り組みの内容 指定管理者制度を導入している戸塚スポーツセンターにおいては、引き続き民間ノウハウの活用で施設の有意義な管理運営に努めるため、公募による選定を行った。また、施設整備においては、安全・安心な施設の管理運営に必要な修繕及び工事を行った。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 戸塚スポーツセンターの指定管理者の選定においては、市の指定管理者候補者選定会議において公平な選定が行われた。他の施設においては、安全・安心な施設の管理運営に努め、施設の不備等による事故はなかった。
---	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 第2期目の管理運営を迎え、民間団体の実績やノウハウを生かしたより一層質の高い市民サービスをどのように展開していくかが課題である。比較的開設年度の新しい施設においても老朽化している設備の改修が必要であり、早急に限られた財源で実施することが困難である。予算の範囲で安全・安心な管理運営を行っていく状況である。

指標①	名称	スポーツ施設の利用稼働率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	利用単位数/利用可能単位数×100							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	61.1	63.3	66.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	63.2	達成	65.1	達成	66.3	達成		
指標②	名称	耐震診断施設数				単位	施設	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震診断実施済み施設数(新耐震基準適合施設含む)/耐震診断対象施設(13施設)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	6.0	7.0	7.0	10.0	13.0			
	実績値・達成状況	6.0	達成	7.0	達成	7.0	達成		
指標③	名称					単位	指標の種別		
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	302,000	1,043,254	1,036,367	1,054,185
	概算人件費	6,960	96,880	93,940	93,940
	総事業費	308,960	1,140,134	1,130,307	1,148,125
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	平日の夜間や土・日・祝日の利用が抽選になっていることなどから、施設への利用状況は全体的に高いものと言えるが、屋内施設の平日の日中や附帯施設である会議室等の有効活用に検討する余地もあると考え評価としたものである。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
安全・安心な施設の管理運営を継続的に行い、多くの利用者がスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう環境づくりをするものである。			
外部評価	評価結果	A	
	(前回評価結果)	A	
	評価結果	A	

施策評価調書(2)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度 事業費	24年度 事業費	25年度 事業費	25年度の 取り組み
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	
2420011	戸塚スポーツセンター管理運営事業	スポーツ課	147,000	147,000	145,000	現状維持で実施
			3,440	3,320	3,320	
2420022	青木町公園総合運動場・体育武道センター管理運営事業	スポーツ課	155,000	155,000	155,000	現状維持で実施
			3,440	3,320	3,320	
2420032	スポーツ施設貸出事業	スポーツ課	741,254	734,367	754,185	拡充して実施
			90,000	87,300	87,300	

注) 事業名称の末尾に「 * 」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	メリット、デメリットを見極めて、スポーツセンターに指定管理者の導入の検討を進めて欲しい。また、学校教育と連携した優れた才能を伸ばす英才教育と、子どもからお年寄りまで幅広くスポーツを楽しむ生涯スポーツの普及が大切であることから施設面の充実を含め安全で安心な管理運営に努めて欲しい。
-------------	---

施策No. 1 1

施策評価調書(1)

評価対象年度 24年度

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民に優れた文化芸術に触れる機会や創作体験の場を提供するとともに、文化芸術を担う人材の発掘・育成や文化ネットワークの構築を図ることにより、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の創出を目指す。

24年度における取り組みの内容	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
広く市民からの推薦に基づく文化三賞の顕彰や、市民団体による文化活動に対する助成制度、文化団体への補助事業などにより文化芸術活動を担う人材の育成を促進した。また美術展、青少年ピアノコンクール、文化祭などの芸術鑑賞や創作体験の機会を提供した。	市内の文化芸術活動を担う人材の発掘や育成を促進し、文化芸術ネットワークの構築を図った。また、市民に対し各種文化芸術事業の鑑賞や創作体験の機会を提供したことで、文化芸術に対する理解が深まった。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

市内の各種文化団体の会員の高齢化が徐々に進んでおり、今後、文化芸術活動などによる地域の活性化や各種文化芸術の継承の問題等に影響が生じる可能性がある。

指標①	名称	文化芸術活動を担う人材の登録者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	文化団体のほか、市内を拠点として文化芸術活動を行っている人材の登録者数 毎年度30人程度の増加を見込む。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	680.0	710.0	740.0	770.0	800.0			
	実績値・達成状況	690.0	達成	759.0	達成	822.0	達成		
指標②	名称	鑑賞者の満足度				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業の来場者にアンケートを取り、満足度を尋ねる。満足と回答とした来場者の割合。(平成24年度から実施)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値			100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況			95.1	未達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	20,463	18,054	21,727	30,945
	概算人件費	34,800	32,680	32,204	24,817
	総事業費	55,263	50,734	53,931	55,762
事業費及び概算人件費の変動要因	青少年ピアノコンクール実行委員会交付金、文化祭実行委員会交付金が合併の関係で増加したため、事業費が増加したため。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	文化団体連合会、美術家協会、市民音楽協会等の団体が高齢化の影響から人数の減少が見受けられる。しかしながら、少しずつではあるが、美術展や文化祭、また市の行事以外でも賞を受賞する若手が出て来るなどの良い兆候も見受けられた。また、鑑賞者の満足度調査の結果に関しても目標としていた100%には届かなかったものの、高い割合で満足との回答を得ることが出来たため。	
	(前回評価結果)		
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
外部評価	各種文化事業や文化芸術団体の支援を継続して実施し、今後も市民の文化芸術活動への参加意欲を高め、若い世代の人材発掘、育成を推進していく。		
	評価結果		
	A		
(前回評価結果)			
B			

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード 251 施策名称 2章5節 文化芸術活動の支援

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2510012	芸術賞賞賜事業	文化推進室	436	554	549	効率化して実施
			3,440	4,150	2,075	
2510022	文化振興基金活用事業	文化推進室	1,176	1,076	3,366	効率化して実施
			3,440	3,320	2,324	
2510032	市民コンサート事業	文化推進室	583	682	924	現状維持で実施
			3,440	3,320	2,324	
2510042	歴史的建造物活用事業	文化推進室	1,531	1,266	1,357	効率化して実施
			6,880	4,980	3,320	
2510096	初午太鼓コンクール交付金	文化推進室	1,260	1,260	1,260	現状維持で実施
			430	415	415	
2510106	文化祭実行委員会交付金	文化推進室	3,100	3,540	3,540	現状維持で実施
			3,440	3,320	2,490	
2510116	美術展実行委員会交付金	文化推進室	2,430	2,430	2,430	現状維持で実施
			5,160	4,980	4,980	
2510126	青少年ピアノコンクール実行委員会交付金	文化推進室	2,800	3,180	3,180	現状維持で実施
			5,160	4,980	4,150	
2510136	川口市文化団体連合会補助金	文化推進室	388	189	189	現状維持で実施
			430	415	415	
2510146	川口市民音楽協会補助金	文化推進室	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			430	415	415	
2510156	かわぐち音楽の日実行委員会交付金	文化推進室	3,000	3,000	2,800	現状維持で実施
			430	415	415	
2510166	地域の芸術環境づくり助成事業	文化推進室	0	3,200	10,000	縮小して実施
			0	1,494	1,494	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント
文化芸術が盛んとなることは、市民に潤いを与え、川口市にとって大切なことであるので、各種団体への補助金、交付金の支出だけでなく、今後も多額の費用を要しない「市民コンサート」などの事業を拡充して欲しい。またアンケートなどを有効活用して、市民の芸術傾向を把握し、今後の事業展開に活かして欲しい。

施策No. 1 2

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	252	施策名称	2章5節 文化施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 本市の文化芸術の発信基地であるアートギャラリーをハード・ソフトの両面から整備・充実し、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供すると共に市民の幅広い文化芸術活動の活性化を図る。
--

24年度における取り組みの内容 魅力ある文化芸術の鑑賞事業や創作体験の場を提供するため、アートギャラリーでの企画展やワークショップの実施のほか、地域コミュニティを促進するため「川口の匠展Vol.2美しきフォルム」などの事業を行った。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 平成24年度に関しては春の企画展、夏の企画展、秋の企画展、アーティスト・イン・スクールの成果発表、アートな年賀状展、新鋭作家展等の主催事業、川口市美術家協会選抜展ほか5件の共催事業を実施し、また貸館事業等を含めると多くの方に利用、来館していただくことが出来た。
--	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) アートギャラリーについては開館から7年が経過し、更なる企画内容の充実を検討する必要があると思われる。

指標①	名称	アートギャラリーの利用率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	アートギャラリー(展示室A・B、スタジオ)の利用率 アートギャラリーの利用率を毎年1.0%引き上げる。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0			
	実績値・達成状況	90.1	達成	92.3	達成	91.2	達成		
指標②	名称					単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
事業費	491,080	21,127	20,980	25,827
概算人件費	31,755	19,350	18,675	18,675
総事業費	522,835	40,477	39,655	44,502

事業費及び概算人件費の変動要因	アートギャラリーの企画展に係る会場監視委託料を新規に計上したため、事業費が増加した。
-----------------	--

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A		
	(前回評価結果)	アートギャラリーについては川口の匠展vol.2美しきフォルムなど「ものづくりの街・川口」を市内はもとより市外、県外の方々に発信できた展覧会を行うなど、指標の目標値を上回ったため。	
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
外部評価	評価結果	B	
	(前回評価結果)	B	
	評価結果	B	

今後も、アートギャラリーの事業の周知、来場促進のための広報活動に努めるなど、工夫して取り組んでいく。

施策No. 1 3

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先 222-2421

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 貴重な文化財や伝統文化、さらには文化的・歴史的資料の保存・活用に努めるとともに、市民に情報を提供することにより、地域に根ざした市民文化を振興し、市民が郷土の歴史と文化に対して誇りと愛着をもてる地域社会の実現を目指す。
--

24年度における取り組みの内容 文化財に関する調査や事業の情報を市民に提供するための報告会や遺跡発掘現場での現地説明会等を実施し、また、文化財活用事業として、社会科見学、歴史教室等の支援事業を実施した。一方、補助金や交付金を通して、指定文化財の維持管理を行った。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 報告会等を通して、文化財の保護や活用に関する様々な調査や事業に関する情報を市民にいち早く提供することができ、小学校・中学校の授業の支援を行うことで、文化財愛護の精神を養うことができた。また、補助金・交付金を通して、指定文化財の保護ができた。
---	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 赤山城跡保存整備事業における事業用地の取得に努め、更なる事業の推進が必要である。また、インターネット等の媒体を通して指定文化財や見学ルートを紹介することにより、市民が文化財をより身近に感じられる存在とし、アイデンティティの育成に努める必要がある。
--

指標①	名称	文化財調査報告会開催事業				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	報告会の参加者人数 募集人数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	120.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
	実績値・達成状況	54.0	未達成	72.0	達成	64.0	達成		
指標②	名称	赤山城跡保存整備事業				単位	m ²	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	赤山城跡保存整備事業用地の購入面積							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	857.3	638.1	1040.7	0.0				
	実績値・達成状況	857.3	達成	638.1	達成	1040.7	達成		
指標③	名称	指定文化財補助金および交付金				単位	件	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	指定文化財の維持管理に係る補助金および交付金の件数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	52.0	52.0	81.0	81.0	81.0			
	実績値・達成状況	52.0	達成	52.0	達成	79.0	未達成		

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	49,378	46,471	55,034	8,982
	概算人件費	3,306	9,761	10,084	6,930
	総事業費	52,684	56,232	65,118	15,912
事業費及び概算人件費の変動要因	赤山城跡の保存整備事業用地の購入面積が縮小したため。				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	文化財調査報告会は、募集人数を参加人数が上回り、赤山城跡保存整備事業の用地取得は予定面積が取得できたため達成された。指定文化財補助金については2箇所の管理者が補助金辞退により目標値が下がったがほぼ達成している。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	文化財など地域の歴史遺産や伝統文化の保存と継承には、中・長期的な観点から取り組みを計画的に実施することが必要である。そのため、赤山城跡保存整備事業を進めるうえでの予算確保を行う必要がある。また近年、文化財保護行政は関連部局との連携が要求されるようになってきたことから、これに対応できる専門職員の育成も図る必要がある。	
外部評価	評価結果	A	
	(前回評価結果)	A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード 261 施策名称 2章6節 文化財の保護と活用

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2610012	文化財調査報告会開催事業	文化財課	25	25	25	現状維持で実施
			688	664	664	
2610023	赤山城跡保存整備事業	文化財課	34,694	41,759	0	休止
			2,580	2,490	0	
2610036	指定文化財補助金および交付金	文化財課	2,418	1,423	980	縮小して実施
			430	415	415	
2610041	日光御成道展開催事業	文化財課	0	2,768	0	完了
			0	664	0	
2610052	文化財の指定および指定候補文化財の調査事業	文化財課	100	80	260	現状維持で実施
			258	249	249	
2610062	文化財センター・分館施設運営事業	文化財課	9,134	8,859	7,597	効率化して実施
			4,300	4,150	4,150	
2610072	学校支援事業	文化財課	100	120	120	現状維持で実施
			1,505	1,452	1,452	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント
 郷土史会をはじめ様々な団体と連携して、学校に対する文化財等の学習支援の一層の充実に努めて欲しい。文化財の保存と活用は難しい側面もあるが、今後も十分に注意を払って実施して欲しい。

施策No. 1 4

施策評価調書(1)

評価対象年度	24年度
--------	------

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	252-3587	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 古文書等の史料を調査・収集・保管・管理を行うとともに、解説を行い、市民の利活用に供することを目的とする。
--

24年度における取り組みの内容 かつて、市史編さん事業において収集(寄贈・寄託等)した古文書の解説及びデータベース化やマイクロフィルム化の推進を図る。	24年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) データベース化することで、収蔵資料の検索が容易にできるようになった。
---	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 古文書史料を解説し、活字化(出版)を推進することにより、市民の利活用に供することを目的とすることから、個人情報や不適切用語の処理等が検討課題である。また、古文書解説者の確保も課題である。また、古文書を管理する設備が不十分である。

指標①	名称	古文書解説事業				単位	件数	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	所蔵未発表古文書等の解説件数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	47.0	45.0	20.0	30.0				
	実績値・達成状況	47.0 達成	45.0 達成	20.0 達成					
指標②	名称	古文書史料・写真資料データベース化				単位	点数	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	データ化予定点数 現在の所蔵古文書等・写真のデータ化							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	19000.0	58000.0	80000.0	57000.0				
	実績値・達成状況	19020.0 達成	58113.0 達成	80742.0 達成					
指標③	名称	川口市産業年表稿の作成				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	出版物/明治初年から平成23年度末までの本市の産業に関する年表の作成割合×100							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	95.0	100.0					
	実績値・達成状況	47.0 未達成	95.0 達成	100.0 達成					

*「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額
	事業費	50	5,656	5,146	6,059
	概算人件費	0	4,386	4,233	4,233
	総事業費	50	10,042	9,379	10,292
事業費及び概算人件費の変動要因	変動なし				

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	古文書・写真のデータベース化及び解説事業が予定どおりの点数が終了し、達成されているため。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
年表稿の作成業務が完了することから、今後は古文書等収集史料の保管・管理に万全を期するとともに、収集古文書の市民の利活用に向け、解説並びに活用を推進する。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 24年度

施策コード 262 施策名称 2章6節 歴史的文書の保存と活用

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	23年度	24年度	25年度	25年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2620022	古文書解説事業	文化財課	1,050	1,370	1,980	拡充して実施
			86	83	83	
2620032	古文書資料収集保管事業	文化財課	4,606	3,776	4,079	拡充して実施
			4,300	4,150	4,150	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント
文化財資料は、収集と保存と活用が重要であるので、インターネット上で閲覧できるような、収集した資料を活用する仕組みづくりや体制を整えて欲しい。施策を構成する事業の掘り起こしを進めていることは理解しているが、さらに検討を行って欲しい。